

表8

認知症の利用者家族とのコミュニケーションに関する自己評価の尺度

	Factor1	Factor2
■家族との円滑なコミュニケーション ($\alpha = .876$)		
家族とうまく話することができる	.797	
初対面の家族でも、すぐに会話が始められる	.750	
初対面の家族に、自己紹介が上手にできる	.705	
自分の考えを、家族にうまく伝えられる	.584	
家族にやってもらいたいことを、うまく話することができる	.562	
家族が話しているところに、気軽に参加できる	.531	
気まずいことがあった家族にもうまく接することができる	.408	
■家族とのトラブルへの対応 ($\alpha = .800$)		
家族とのあいだでトラブルが起きても、それを上手に解決できる		.819
家族が怒っているときに、うまくなだめることができる		.751
家族から非難されたときにも、うまく対応することができる		.501

表9

因子間相関

	Factor1	Factor2
家族との円滑なコミュニケーション	—	.767
家族とのトラブルへの対応		—

表10

認知症の利用者への介護に関する自己評価尺度

	Factor1	Factor2
■利用者のペースに合わせた支援やコミュニケーション ($\alpha = .673$)		
心情を表に表さない利用者にも心理的な配慮をした援助を行う	.653	
利用者のペースにあわせて介護できる	.609	
利用者とのコミュニケーションがうまくいっている	.492	
■利用者の生活状況の理解と介護方針の決定 ($\alpha = .626$)		
認知症のことをよく理解できていると思う		.655
利用者の生活歴や習慣をよく理解している		.511
介護の方法や内容をどうしたらよいか自分で決められる		.456

表11

因子間相関

	Factor1	Factor2
利用者のペースに合わせた支援やコミュニケーション	—	.843
利用者の生活状況の理解と介護方針の決定		—

表12

認知症に関する研修内容の理解度自己評価尺度

	Factor1	Factor2	Factor3	Factor4
■ケアと支援のための理解と方法 ($\alpha = .805$)				
認知症高齢者が安心して暮らせる地域社会づくり	.699			
認知症高齢者とのよいコミュニケーション方法	.603			
認知症高齢者の心理的理解	.467			
認知症高齢者の家族が抱えやすい葛藤とストレス	.456			
■認知症の基本的理解 ($\alpha = .815$)				
認知症によって生じる認知や記憶の障害		0.808		
認知症の原因や進行の過程		0.786		
■行動障害の理解と対応 ($\alpha = .773$)				
徘徊などの行動障害の理解(原因やおきやすい状況)とその対応			.726	
帰宅願望の理解(原因やおきやすい状況)と対応			.679	
■認知症介護の基本的理解 ($\alpha = .656$)				
パーソンセンタードケアの理念と内容				.687
成年後見制度				.422
最近の認知症介護の基本的理念と基本的方法				.415

表13

因子間相関

	Factor1	Factor2	Factor3	Factor4
ケアと支援のための理解と方法	—	.788	.871	.777
認知症の基本的理解		—	.776	.698
行動障害の理解と対応			—	.711
認知症介護の基本的理解				—

表14

介護ストレス項目_{※1}との相関分析

家族との具体的なかかわりに関する尺度の下位尺度	相関係数	有意水準
家族の悩みや介護にかかわる知識についてのアドバイス	-0.059	*
介護方法・サービスの相談や利用者の状況に関する情報交換	-0.039	<i>n.s.</i>

n.s. : $p > .10$, * : $p < .05$

※1「介護をされていて、体も気持ちも疲れ果てたと感じる」について、「いつもそうだ(1点)」～「いつもそうでない(5点)」の5件法で回答を求めた。

表15

家族との具体的ななかかわりの頻度に関する尺度
 “家族の悩みや介護にかかわる知識についてのアドバイス”との相関分析

尺度	下位尺度	相関係数	有意水準
軽度認知症の利用者の家族に関する意識尺度	家族へのアドバイスや情報交換	0.096	**
	家族の利用者理解の困難さと利用者との意向の違い	0.022	<i>n.s.</i>
軽度認知症の利用者に関する意識尺度	行動障害や生活上の支障への対応	-0.150	**
	利用者理解の困難さ	-0.009	<i>n.s.</i>
認知症の利用者家族とのコミュニケーションに関する自己評価尺度	家族との円滑なコミュニケーション	0.391	**
	家族とのトラブルへの対応	0.440	**
認知症の利用者への介護に関する自己評価尺度	利用者のペースに合わせた支援やコミュニケーション	0.254	**
	利用者の生活状況の理解と介護方針の決定	0.328	**

n.s. : $p > .10$, ** : $p < .01$

表16

家族との具体的ななかかわりの頻度に関する尺度
 “介護方法・サービスの相談や利用者の状況に関する情報交換”との相関分析

		相関係数	有意水準
軽度認知症の利用者の家族に関する意識尺度	家族へのアドバイスや情報交換	0.171	**
	家族の利用者理解の困難さと利用者との意向の違い	0.074	**
軽度認知症の利用者に関する意識尺度	行動障害や生活上の支障への対応	-0.078	**
	利用者理解の困難さ	0.054	*
認知症の利用者家族とのコミュニケーションに関する自己評価尺度	家族との円滑なコミュニケーション	0.419	**
	家族とのトラブルへの対応	0.407	**
認知症の利用者への介護に関する自己評価尺度	利用者のペースに合わせた支援やコミュニケーション	0.318	**
	利用者の生活状況の理解と介護方針の決定	0.391	**

* : $p < .05$, ** : $p < .01$

表17

家族との具体的ななかかわりの頻度に関する尺度
 “家族の悩みや介護にかかわる知識についてのアドバイス”を
 従属変数とする重回帰分析(調整済み $R^2=0.22$, $p<.001$)

尺度	下位尺度	標準偏回帰係数	有意水準
軽度認知症の利用者の家族に関する意識尺度	家族へのアドバイスや情報交換	0.023	<i>n.s.</i>
軽度認知症の利用者に関する意識尺度	行動障害や生活上の支障	-0.141	**
認知症の利用者家族とのコミュニケーションに関する自己評価尺度	家族とのトラブルへの対応	0.380	**
認知症の利用者への介護に関する自己評価尺度	利用者の生活状況の理解と介護方針の決定	0.081	**

n.s. : $p >.10$, ** : $p <.01$

表18

家族との具体的ななかかわりの頻度に関する尺度
 “介護方法・サービスの相談や利用者の状況に関する情報交換”を
 従属変数とする重回帰分析(調整済み $R^2=0.22$, $p<.001$)

尺度	下位尺度	標準偏回帰係数	有意水準
軽度認知症の利用者の家族に関する意識尺度	家族へのアドバイスや情報交換	0.086	**
軽度認知症の利用者に関する意識尺度	行動障害や生活上の支障	-0.089	**
認知症の利用者家族とのコミュニケーションに関する自己評価尺度	家族との円滑なコミュニケーション	0.280	**
認知症の利用者への介護に関する自己評価尺度	利用者の生活状況の理解と介護方針の決定	0.196	**

** : $p <.01$

表19

認知症に関する研修内容の理解度自己評価尺度の下位尺度との相関分析

尺度	下位尺度	ケアと支援のための理解と方法	認知症の基本的理解	行動障害の理解と対応	認知症介護の基本的理解
軽度認知症の利用者の家族に関する意識尺度	家族へのアドバイスや情報交換	0.185 **	0.167 **	0.164 **	0.128 **
	家族の利用者理解の困難さと利用者との意向の違い	0.078 **	0.070 **	0.030 <i>n.s.</i>	0.026 <i>n.s.</i>
軽度認知症の利用者に関する意識尺度	行動障害や生活上の支障への対応	0.003 <i>n.s.</i>	-0.001 <i>n.s.</i>	-0.023 <i>n.s.</i>	-0.056 *
	利用者理解の困難さ	0.208 **	0.174 **	0.178 **	0.117 **
認知症の利用者家族とのコミュニケーションに関する自己評価尺度	家族との円滑なコミュニケーション	0.505 **	0.423 **	0.453 **	0.481 **
	家族とのトラブルへの対応	0.463 **	0.384 **	0.410 **	0.475 **
認知症の利用者への介護に関する自己評価尺度	利用者のペースに合わせた支援やコミュニケーション	0.525 **	0.452 **	0.489 **	0.444 **
	利用者の生活状況の理解と介護方針の決定	0.582 **	0.517 **	0.560 **	0.521 **

n.s. : $p > .10$, * : $p < .05$, ** : $p < .01$

表20

軽度認知症の利用者の家族に関する意識尺度
 “家族へのアドバイスや情報交換”を
 従属変数とする重回帰分析(調整済み $R^2=0.03$, $p<.001$)

	標準偏回帰係数	有意水準
ケアと支援のための理解と方法	0.182	**
認知症の基本的理解	0.068	<i>n.s.</i>
行動障害の理解と対応	-0.009	<i>n.s.</i>
認知症介護の基本的理解	-0.054	<i>n.s.</i>

n.s. : $p >.10$, ** : $p <.01$

表21

軽度認知症の利用者の家族に関する意識尺度
 “家族の利用者理解の困難さと利用者との意向の違い”を
 従属変数とする重回帰分析(調整済み $R^2=0.004$, $p<.001$)

	標準偏回帰係数	有意水準
ケアと支援のための理解と方法	0.060	<i>n.s.</i>
認知症の基本的理解	0.022	<i>n.s.</i>

n.s. : $p >.10$

表22

軽度認知症の利用者に関する意識尺度
 “利用者理解の困難さ”を
 従属変数とする重回帰分析(調整済み $R^2=0.05$, $p<.001$)

	標準偏回帰係数	有意水準
ケアと支援のための理解と方法	0.276	**
認知症の基本的理解	0.059	<i>n.s.</i>
行動障害の理解と対応	-0.019	<i>n.s.</i>
認知症介護の基本的理解	0.126	**

n.s. : $p >.10$, ** : $p <.01$

表23

認知症の利用者家族とのコミュニケーションに関する自己評価尺度
 “家族との円滑なコミュニケーション”を
 従属変数とする重回帰分析(調整済み $R^2=0.27$, $p<.001$)

	標準偏回帰係数	有意水準
ケアと支援のための理解と方法	0.306	**
認知症の基本的理解	0.015	<i>n.s.</i>
行動障害の理解と対応	0.018	<i>n.s.</i>
認知症介護の基本的理解	0.221	**

n.s. : $p >.10$, ** : $p <.01$

表24

認知症の利用者家族とのコミュニケーションに関する自己評価尺度
 “家族とのトラブルへの対応”を
 従属変数とする重回帰分析(調整済み $R^2=0.25$, $p<.001$)

	標準偏回帰係数	有意水準
ケアと支援のための理解と方法	0.257	**
認知症の基本的理解	-0.009	<i>n.s.</i>
行動障害の理解と対応	-0.015	<i>n.s.</i>
認知症介護の基本的理解	0.293	**

n.s. : $p >.10$, ** : $p <.01$

表25

認知症の利用者への介護に関する自己評価尺度
 “利用者のペースに合わせた支援やコミュニケーション”を
 従属変数とする重回帰分析(調整済み $R^2=0.28$, $p<.001$)

	標準偏回帰係数	有意水準
ケアと支援のための理解と方法	0.338	**
認知症の基本的理解	0.060	<i>n.s.</i>
行動障害の理解と対応	0.099	*
認知症介護の基本的理解	0.068	*

n.s. : $p >.10$, * : $p <.05$, ** : $p <.01$

表26

認知症の利用者への介護に関する自己評価尺度
 “利用者の生活状況の理解と介護方針の決定”を
 従属変数とする重回帰分析(調整済み $R^2=0.36$, $p<.001$)

	標準偏回帰係数	有意水準
ケアと支援のための理解と方法	0.264	**
認知症の基本的理解	0.082	*
行動障害の理解と対応	0.166	**
認知症介護の基本的理解	0.140	**

* : $p < .05$, ** : $p < .01$

研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
朴 偉廷 内藤佳津雄 長嶋紀一	家族介護者の支援に関する研究 一通所 介護事業所の介護職員 の家族介護者との関わり と関連する要因について—	日本大学心理学研究	第28号	72-80	2007年